

令和
2年 **10**月**31**日(土)

15:00 ~ 17:00

※新型コロナウイルス感染防止対策として、オンラインで開催します。
オンラインでの視聴が難しい場合はお問い合わせください。

人口減少や少子高齢化が急速に進む中、
これからの集落のあり方や支援策など、行政の関わり方も含めて、
事例を交えながら多面的に議論するための
シンポジウムを開催します。



基調講演

「ドイツから見た日本の中山間地域」

講師

高松 平藏 氏 ドイツ在住ジャーナリスト

パネルディスカッション

パネリスト

高松 平藏 氏 ドイツ在住ジャーナリスト

岩淵 泰 氏 岡山大学地域総合研究センター

コーディネーター

徳田 恭子 岡山県中山間地域協働支援センター長

お申込方法は裏面へ！

主催：岡山県 / 岡山県中山間地域協働支援センター



多様な集落のあり方 — 海外の事例も視野に —

令和2年度 集落のあり方を考えるシンポジウム



参加者募集中
オンライン
開催！

講師・パネリスト紹介



高松 平藏 氏 ドイツ在住ジャーナリスト

1969年生まれ、奈良県出身。ドイツの地方都市エアランゲン市(バイエルン州)在住。京都の地域経済紙を経て、90年代後半から日独を行き来し、同市での取材をはじめ。2002年から同市に拠点を移す。日独の生活習慣や社会システムの比較をベースに環境問題や文化、経済などを取材。地方の「都市発展」をテーマに執筆。また講演活動のほか、エアランゲンで研修プログラムを主宰。『ドイツの地方都市はなぜクリエイティブなのか』ほか、著書多数。



岩淵 泰 氏 岡山大学地域総合研究センター

1980年福岡県生まれ。熊本大学社会文化科学研究科修了。博士(公共政策)。フランス・ボルドー政治学院留学。カリフォルニア大学バークレー校都市地域開発研究所客員研究員(IURD)。都市成長を支える参加民主主義の役割を分析するとともに、世界各地のまちづくり事例に精通。

申込方法

※新型コロナウイルス感染防止対策として、オンラインで開催します。
オンラインでの視聴が難しい場合はお問い合わせください。

メールで下記のアドレスへお申し込みください。

▶ okayama.chu@gmail.com

表題を「集落のあり方を考えるシンポジウム参加申し込み」として下記まで送信してください。

申込期限

10/23(金)
まで

1. メールでお申し込みいただきます。
2. 後日、セミナー招待メールが届きます。
3. 招待メールに記載のURLから、シンポジウムにご参加ください。

問合せ

岡山県中山間地域協働支援センター

〒700-0814 岡山市北区天神町6-47 ヒルトップ天神ビル2F

TEL:086-803-3733 メール:okayama.chu@gmail.com